学校番号	320

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳述政治・経済（実教）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公共と関連を持たせ、政治・経済の諸問題を主体的に学習する態度を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の社会的事象と人間としてのあり方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に着けている。 現代の社会を人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有効な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会にかかわる事柄から課題を見出し、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえて公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度をみにつけ人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代日本における政治経済の諸課題	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を通して身に付ける	a：政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 b：民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現すること。 c：自らの価値観を形成するとともに他者の価値観の尊重を視野に、異文化共生についての課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りレポート
		社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する	a：政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 b：民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現すること。 c：少子高齢社会における社会保障の充実・安定化など、取り上げた課題解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述できること。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りレポート

2学期	グローバル化する国際社会の諸課題	国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深めることに向けて、個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を通して学ぶ。	a: 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。 b: 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現すること。 c: 相互依存関係が深まる国際関係について多面的、多角的に考察し、自分の考えを発表、論述できること。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りレポート
3学期	グローバル化する国際社会の諸課題の探究	社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して、持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して、学習する、	a: 現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能をみにつける。 b: 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現すること。 c: 相互依存関係が深まる国際関係について多面的、多角的に考察し、自分の考えを発表、論述できること。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度